

意外な 当社製品を紹介します

本企画では、「この会社、こんなものも作っていたんだ！」
主力製品とは異なる分野、用途で活躍する意外な製品を紹介します。

サンフレックス 株式会社

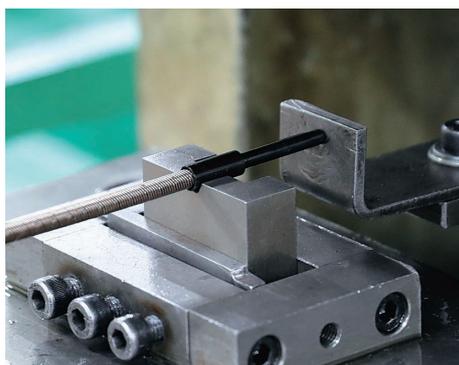
所在地：大阪市東成区大今里1丁目5番11号

創業：1947(昭和22)年6月

資本金：1,500万円 従業員数：24名

主力製品：フレキシブルシャフトなどの開発・製造・販売

機械・設備に組み込まれて、あらゆる産業界で活躍しています



創業以来70年以上にわたりフレキシブルシャフトの製造を行う同社。フレキシブルシャフトは回転を伝達する最も簡単な方法として近來、あらゆる産業界に採用されている動力伝達のための機械要素部品です。導入メリットとしては、「機器の配列が自由にできる」「機器の正確な芯出しが不要」「回転中でも駆動側と従動側の相対位置を変えられる」「伝達効率が高い」「振動を吸収する」「一つの動力から複数の動力を取り出せる」「防塵性がある」「メンテナンスが容易」「機械を小型に設計できる」などがあります。同社では1,000種以上にわたるタイプのフレキシブルシャフトをユーザーの専用希望に合わせ、試作から量産品まで迅速に対応し供給しております。

意外な当社製品

PickUp ▶▶▶

磨くゴムへら

サビ取り、キズ消しなどの用途に合わせて使用

フレキシブルシャフトを手掛ける当社の意外な製品として「磨くゴムへら」があります。「磨くゴムへら」はゴムに砥粒を配合し、消しゴム感覚で使える「ゴム砥石」を柔軟性のある「へら」に貼り付けることにより溝や狭い隙間を最適な力加減で磨く事ができる研磨工具です。先端部は約3mm



厚で、幅 15mm(大)と幅 10mm(小)の2種類のサイズがあり、砥粒の粗目から細目を色分けして一般のお客様にもわかりやすくしています。工業関係では金型修正、焼け取り、薄サビ取り、趣味関係ではプラモデル、模型細工などの研磨に使用されています。最近では、シンク周りの汚れを落とす掃除用具としても使用されており、ゴム臭さをなくすためバニラの香りを配合し、一般家庭でも使いやすい仕様にしました。現在は、全国のホームセンターやホビーショップに陳列されています。

『磨くゴムへら』を手がけようと考えられた背景を教えてください。

『磨くゴムへら』は、当社製品のひとつ『弾性セラミック砥石』を展示会で紹介したところ、「手が届かない、狭い・細い箇所」を研磨したい」との要望が多くあったことがきっかけで、開発に取り掛かりました。要望である“狭い・細い箇所”を研磨できるよう、従来のセラミックス材料ではなく、ゴム材料を採用することになります。しかし、接着剤の硬化性とゴム材料の相性が悪かったため、弾性を活かしきれず再度検討し、柔軟性のあるへらタイプに特殊テープでゴム砥石を張り付ける方法にたどり着きました。現在、工場から家庭用品、DIY まで幅広くご使用いただいています。



代表取締役社長
宮井 賢次 氏